

I - 1 令和7年度 学校経営方針

1 校訓

自学 礼儀 勤労

2 学校教育目標

豊かな心を持ち 自ら考え学び行動できる
生徒の育成

3 基礎学力の向上推進

(1) 学習規律の徹底、規範意識の向上

「学ぶとき大切にしたいこと」「教えるとき大切にしたいこと」を活かした授業づくりの工夫

(2) 「朝読書」「学び舎集会」「放課後補習」「学習相談日」「教育相談日」等の内容充実と実践の徹底

4 研究主題

豊かな心を育て、主体的に学ぶ生徒の育成
～ 探究的な学びを通して ～

5 本校の歴史

本校は地域の方々から支援をいただき、生徒を育む場が多い。昭和22年の開校当時、校舎は都小学校、千城小学校、都役場跡と3箇所に分散して、仮校舎でスタートした。現在の校地は、翌年、畑地及び松林であった約26,530㎡を該地主の寄付により校地とした。松の大木、切株、雑木等を2,500人の保護者の方々による勤労奉仕で整理された。開校当時から綿々と紡がれ、平成28年度に70周年を迎え記念式典を挙行了。地域と学校との連携をさらに重視し、これからの教育活動を展開し、生徒を主体とした新たな歴史と伝統を創造することが求められる。

6 目指す学校像

一人一人の生徒が自分らしく輝く学校

- (1) 常に生徒が主役で手作りの学校
- (2) 生徒・教職員の笑顔と挨拶があふれる学校
- (3) 当たり前前ことを、当たり前前にできる学校
- (4) 常に元気な歌声が響く学校
- (5) 校舎内外の環境が整備された学校

7 求める生徒像

- (1) 自ら考え学び、課題解決を図る生徒
- (2) 自己を大切に、他への思いやりをもつ生徒
- (3) きまりを守り、礼儀正しい生徒
- (4) 自己を律し、言動に責任をもつ生徒
- (5) 間違ふことを恐れず粘り強く最後まで全力で取り組む生徒

8 あるべき教師像

- (1) 生徒を愛し、一人一人を大切にできる教師
- (2) わかる授業を実践し、学習意欲を高める教師
- (3) 教師力向上のため研修に積極的に励む教師
- (4) 礼節をわきまえ、意欲的で協調性のある教師
- (5) 社会人としての良識を持ち、信頼される教師

9 今年度の重点

4つのキーワード（5年目）

①「基礎学力」②「生徒指導」③「学校生活」④「学習環境」

- (1) 言語活動の充実-「伝える」から「伝わる」力へ
 - ① 言語環境の整備と全教育活動での取組
 - ② 教師がよきモデルとなることが絶対条件
 - ③ ギガタブの効果的な活用

(2) 学校組織の機能化と学年・学級経営の充実

- ① 各学年、各分掌が共通理解と同一歩調により組織的に機能する学校
- ② お互いを認め合い、生徒一人一人が輝ける学級経営（特に、居場所作りの工夫）
- ③ 生徒・保護者・教師相互の信頼関係が築ける学年・学級づくり（丁寧で細やかな対応）
- ④ 清掃指導、衛生指導、掲示物（学級、廊下）等の充実

(3) 積極的生徒指導・教育相談の充実

- ① 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上
- ② 生徒の心の理解と毅然とした指導の両立
- ③ 人権教育を基本とした、いじめを許さない学校づくりの充実
- ④ 顔の見える関係を重視した保護者との連携
- ⑤ 不登校生徒や保護者との継続的な対話を通じた相互の信頼関係の構築等：外部機関との連携
- ⑥ 部活動指導の充実、部活動指導員の活用、地域移行へのアプローチ

(4) 教科指導の質的向上

- ① 指導計画・内容・評価評定の見直しと改善
- ② 基礎・基本の習得から思考・判断・表現活動・問題解決力を育成する学びの広がり
- ③ ICT機器の積極的な活用（タブレットの効果的な活用）

(5) 道徳教育の充実

- ① 教科指導の充実
- ② 学校教育活動を通じた道徳的実践力の育成
- ③ 規範意識・自他の生命尊重・社会への主体的参加等による豊かな心の育成
- ④ 弁護士による人権教育の継続

(6) 特別活動の充実

- ① 学校行事等への生徒の主体的な参画と運営
- ② 多様な体験活動を通して「生きる力」を育成

(7) キャリア教育の充実

- ① 自己の進路・将来を主体的に考えることができる力を育成する指導の充実（キャリアパスポートの活用 R2.4～）*全国小中高9か年
- ② 社会的・職業的自立を目指し、一人一人のキャリア発達を促す教育活動の充実

（1年：職業調べ、職業講話 2年：職場体験、3年：上級学校訪問）

(8) 総合的な学習の時間の充実

- ① 3年間を見通した系統性・体系性の確立
- ② 横断的な学習からの問題解決や探究活動

(9) 環境整備・危機管理

- ① 施設・設備の安全管理の把握と整備の徹底
- ② 減災・避難等に係わる地域・行政との連携

(10) 保護者・地域社会との連携

- ① ボランティア活動や地域行事等への参加と地域諸団体との連携
- ② 学校・家庭・地域が連携して育む「生きる力」
- ③ 各種便り等で積極的かつ効果的な情報発信